

## 堤あおいさんに多久市長賞

2/21 [Sun]



パソコンやスマートフォンなどの安全で安心な使い方を啓発する「第13回 令和2年度ネットの安全・安心けいはつコンクール」(主催：特定非営利活動法人ITサポートさが)が開催され、東原彦舎東部校6年の堤あおいさんが多久市長賞に輝きました。

新型コロナウイルスの影響で、今回はオンライン表彰式を実施。さらに、2月にアバンセ(佐賀市)、3月にゆめタウン佐賀(佐賀市)で作品が展示されました。

堤さんは「顔の見えない人とのやり取りには危険もあるから気を付けてほしいという思いで描いた。選ばれると思っていたいなかったので、受賞できて嬉しい」と喜びを話しました。

▲作品のチャットの文字は一度パソコンで書いてなぞるなど、細やかな工夫を凝らしました

▲多久市長賞を受賞した堤さん

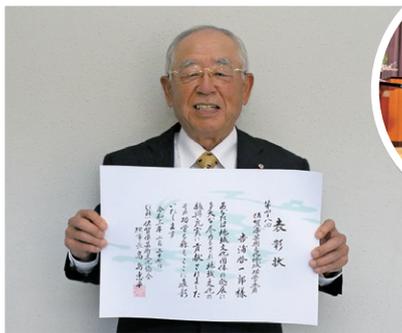
## 佐賀県芸術文化地域功労賞を受賞

2/27 [Sat]

第48回佐賀県芸術文化賞等表彰式(主催：公益財団法人佐賀県芸術文化協会)が東与賀文化ホール(佐賀市)で行われ、吉浦啓一郎さん(東多久町)が佐賀県芸術文化地域功労賞を受賞されました。

この賞は芸術文化の振興に功績がある人を称えるもので、吉浦さんは多久市文化連盟の会長を10年務めるなど、長年にわたる多久市での文化活動への貢献が評価されました。

吉浦さんは「文化祭の運営など苦心することも多かったが、地道に努力したことが評価されたのは嬉しい。みなさんの協力のおかげ。今後も芸術文化の発展に尽力していきたい」と受賞の喜びを笑顔で語りました。



▲表彰式で賞状を受け取る吉浦さん

▲佐賀県芸術文化地域功労賞を受賞された吉浦さん

## 義務教育学校で卒業式

3/8 [Mon]



◀川崎校長から卒業証書を受け取る卒業生



▲西溪校の卒業生と担任の渡辺正樹教諭

市内3校の義務教育学校で卒業証書授与式が行われ、マスク姿の卒業生135人は保護者や教諭、在校生に見守られながら学びやを巣立ちました。

東原彦舎西溪校では卒業生26人が出席。新型コロナウイルス感染防止のため、保護者は卒業生1人につき2人が参加。在校生のうち4年生以下は各教室からリモートで参加しました。

式では、川崎朗校長が一人ひとりに卒業証書を手渡し、卒業生を代表して梶原泰惇さんが「楽しいことや嬉しいこと、苦しいことも26人で笑い合ってきた。これから辛いことがあっても西溪校での思い出を振り返り笑顔で進みたい」と述べました。